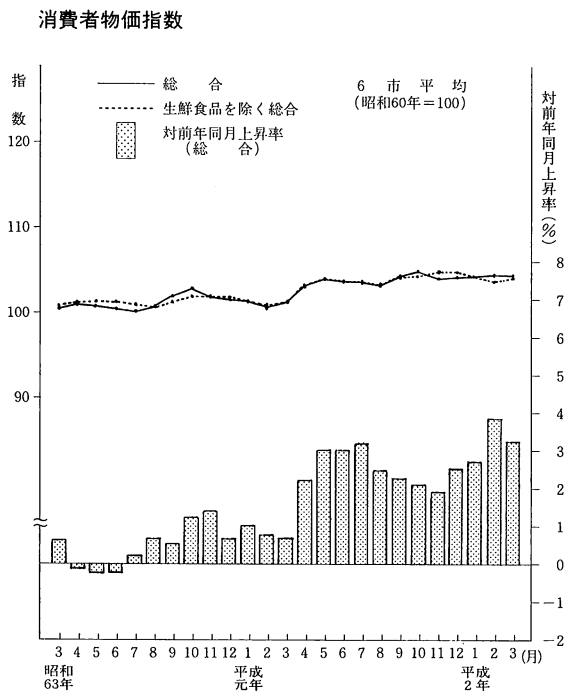
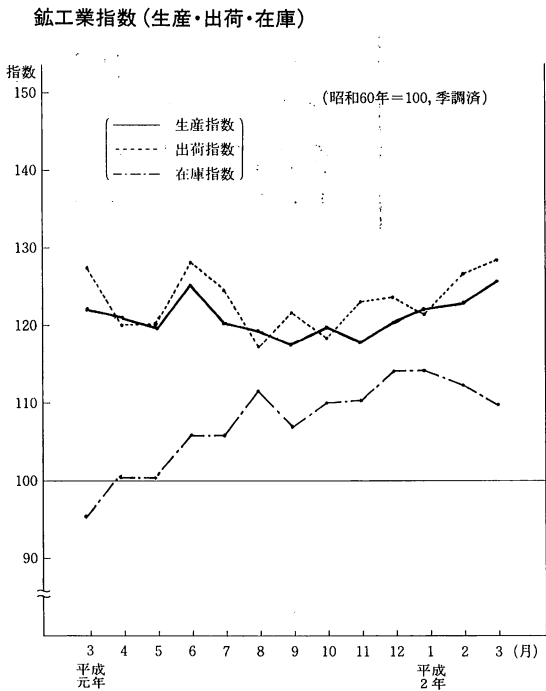
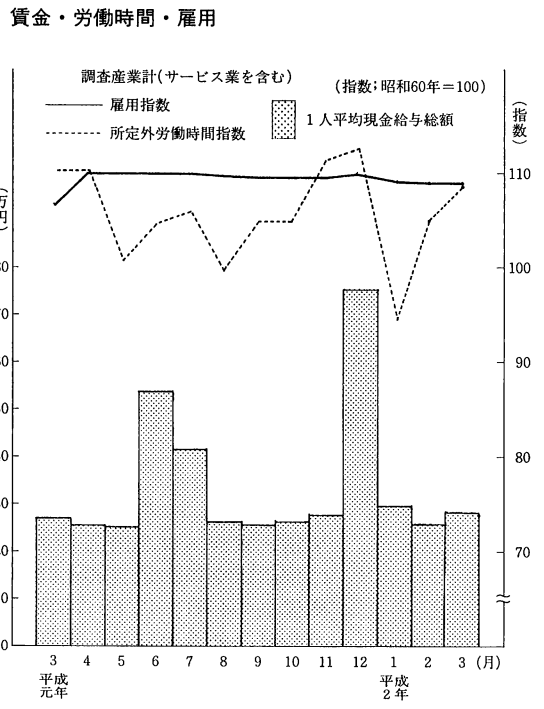
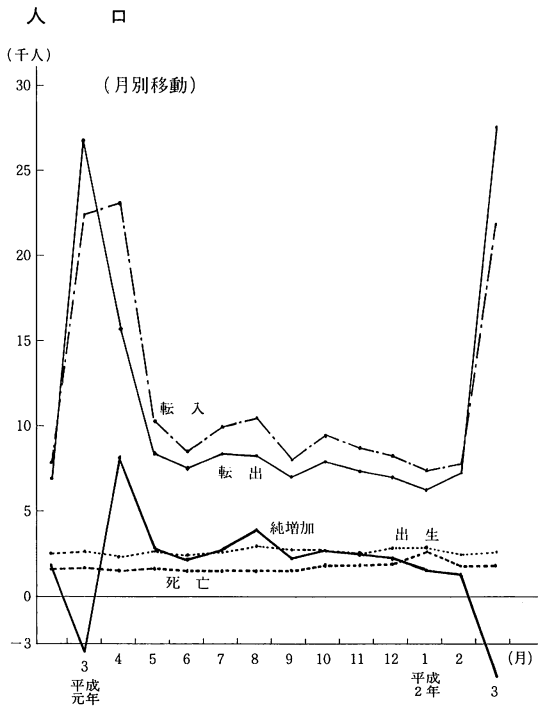


● 今月の主な動き

今月の主な動き



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (4月1日)

本県の人口は、3月中に4,656人減少し、4月1日現在で2,830,630人(男1,410,460人, 女1,420,170人)となった。

内訳は、自然動態で766人(出生2,460人, 死亡1,694人)増加し、社会動態で5,422人(転入21,795人, 転出27,217人)減少した。対前年同月と比べると26,063人(0.93%)の増加

である。

市町村別では、増加が4市29町村, 減少が15市38町村, 増減なしが1市1村である。

世帯数についても3月中に1,749世帯減少し817,463世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (3月)

1. 平均賃金の推移

3月の現金給与総額は、調査産業計で281,044円, 前年同月比2.5%増(前月は2.7%増)であった。このうちきまって支給する給与は256,705円, 前年同月比2.7%増(前月は2.8%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は225,418円で、前年同月比3.1%増(前月は3.2%増)であり、超過労働給与は31,287円で、前年同月比0.2%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比1.0%減であった。

2. 労働時間

3月の総実労働時間は、調査産業計で172.1時間, 前年同月比0.8%減(前月は2.3%減)であった。このうち所定内労働時間は152.7時間で、前年同月比0.6%減(前月は2.3%減)であった。また、所定外労働時間は19.4時間, 前年同月比2.0%減(前月は3.0%減)であった。

3. 雇用の動き

3月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比1.6%増(前月は2.0%増)であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (3月分)

本県における平成2年3月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が126.0, 出荷が128.6, 在庫が109.8で、前月比は、生産が2.1%の上昇, 出荷が0.8%の上昇, 在庫が△1.8%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が3.8%の上昇, 出荷が1.5%の上昇, 在庫が13.9%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、金属製品工業, 精密機械工業, 輸送機械工業等が上昇し、鉱業, パルプ・紙・紙加工品工業, 石油・石炭製品工業等が低下した。出荷では、精密機械工業, 金属製品工業, 窯業・土石製品工業等

が上昇し、食料品・たばこ工業, 繊維工業, 非鉄金属工業等が低下した。在庫では、電気機械工業, 繊維工業, その他工業等が上昇し、精密機械工業, 鉱業, 石油・石炭製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財, 建設財等が上昇し、非耐久消費財, 資本財が低下した。出荷では、耐久消費財, 建設財が上昇し、非耐久消費財, 鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、耐久消費財が上昇し、その他用生産財, 建設財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (3月)

平成2年3月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で104.4(昭和60年=100)となり、前月比△0.1%の下落, 前年同月比3.5%の上昇となった。

今月上がった主な項目……他の光熱7.5%, 衣料4.0%, 酒類2.9%

今月下がった主な項目……野菜・海草△7.1%, 乳卵類△2.6%, 果物△1.6%, 油脂・調味料△1.3%

生鮮食品を除く総合は104.1となり、前月比0.4%の上昇, 前年同月比3.0%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	104.4	△0.1	3.5	保健医療	104.9	0.0	1.6
食 料	104.2	△1.0	4.4	交 通 信	102.7	0.4	2.5
住 居	112.9	0.1	3.2	教 育	116.8	0.0	3.2
光熱・水道	88.5	0.6	1.0	教養娯楽	108.1	0.4	4.6
家具・家事用品	99.8	0.2	1.0	諸 雑 費	105.8	0.0	2.1
被服及び履物	104.4	1.7	3.7	生鮮食品を除く総合	104.1	0.4	3.0